



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2006年（平成18年）10月5日号 No. 1376

目次

■ サハリン2をめぐる状況とロシアの投資環境 坂口 泉・高橋 浩 1
(2006年9月29日 ロシアNIS貿易会メンバーズ・ブリーフより)	
■ トピックス 9
川崎重工がモスクワに事務所開設／9	
オムロンがモスクワに制御機器の販社設立／9	
カルナバイオサイエンスがウクライナのエナミン社と提携／10	
■ エトセトラ 10
世界競争力ランキング／10	
ビジネス環境ランキング／10	
■ ロシア新着企業情報 10
■ ロシア・NIS諸国通貨の為替レート 12

サハリン2をめぐる状況とロシアの投資環境

はじめに

広く報道されているとおり、ロシア天然資源省は9月18日、サハリン沖の石油・天然ガス開発計画「サハリン2」の環境に関する承認を取り消すと発表した。サハリン2は日露間の最大の経済プロジェクトであり、ロシアの投資環境、投資リスクの問題が改めてクローズアップされている。

そこで当会では、9月29日に「サハリン2をめぐる状況とロシアの投資環境」と題するメンバーズ・ブリーフを実施し、サハリン2およびPSA（生産分与協定）をめぐる一連の動きについて事実関係を整理して報告するとともに、ロシアの投資環境全般について考察を行った。今号では、その概要をご紹介します。